



キックオフ
News

富田林市議会議員

vol.17

なんざい暫平

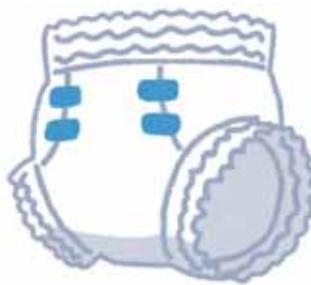
発行元 とんだばやし未来議員団
住所 〒584-8511 富田林市常盤町1-1
TEL 0721-25-1000(内線 231)
FAX 0721-25-9005
H.P. nanzai.net 検索



保育園から使用済みの紙オムツを持って帰らなくてよくなります！

多くの方々から保育園での使用済み紙オムツの持ち帰りをしないでいいよう何とか出来ないかとのお声を頂き、平成30年の決算委員会での質問、令和元年の本会議における要望を通じ、ようやく実現しました！

市では新年度の出来るだけ早いタイミングで使用済みの紙オムツは園で処分するように準備を進めます。



金剛地区が新たな姿に！ピュア金剛跡が新しく広場に整備されます！

金剛地域の活性化、そして新たなまちづくりは私の最大のテーマです。議会質問等々においてもその実現に向けて機会あるごとに取り上げて参りました。昨年の9月議会においても、その一環としてピュア金剛跡の再整備について具体的な提案を示しております。

今回、その提案に沿った形でピュア金剛跡が生まれ変わることになります！

耐震基準を満たしておらず使用が出来ない状態であったピュア金剛跡がUR都市機構が主体となって取り壊され、その後は市と連携しながら広場空間として整備されます。



現在のピュア金剛跡

さちに、本市が新年度に新たに取り組んでいく事業が明らかになり、その中には私が議会の場で実現に向け提案を行ってきました内容もいくつか入っています。今号ではその内容を中心にお伝えします。

3月定例会が閉会 令和4年度 一般会計約428億円 特別会計約272億円の予算案を可決

サバーファームの活性化について質問と提案を行いました

開園後、約30年が経過したサバーファーム。時代の移り変わりにより近年は入場者数が大きく減少傾向にあります。入場者数は一番多い時で平成9年の14万3,000人で、それが直近の令和2年では5万3,000人となっております。また、本市は毎年多額の指定管理料を支出していることもあります、その活性化は急務です。

その事から以下の様にサバーファームの活性化に向けて質問と提案を行いました。

Q 質問1 サバーファームが企画している内容で特に子どもたちが対象となるものに関しては、市内の保育園や幼稚園、学童にポスターを掲示し、PRの拡大を行ってはどうか。

A 市の答え 提案を踏まえまして、市内の全ての保育園及び学童クラブにポスターを配付し、PRに努めて参ります。

Q 質問2 猛暑が続く夏の間でも、水風船や水鉄砲など涼しさを得ることができる遊び空間づくりを行うことで、その時期の来園者の獲得増につなげることができないか。



A 市の答え 現在、エントランスでのミストの噴射や温室前広場での簡易プールの設置を実施しております。また、他のスポットでも、子どもたちが楽しめる水遊びを充実できるよう指定管理者と協議を行って参ります。

Q 質問3 広大な園内を隅々まで楽しんでもらうために新しく園内の移動手段を考えてみてはどうか。

A 市の答え ご提案のように、広い施設を快適かつ安全に移動できる手段が必要であると考えており、今後も他施設の事例を調査、収集するとともに、引き続き指定管理者との協議を進めて参ります。

Q 質問4 サバーファームで栽培されているブドウの品種は、現在10品種ありますが、ブドウ狩り用に栽培されているのはヒムロット、紫玉、藤稔、ベリーAのみです。ブドウ狩りは長年にわたり好評を得て、多くの方々が来園されているとのことです。近年、消費者が好むブドウの品種もさま変わりしてきていることから、栽培ぶどう品種の変更も考えるべきでは。

A 市の答え ご指摘のとおり、近年消費者が好むブドウの品種といたしましては、シャインマスカットに代表される大粒で種がなく皮ごと食べるられるものに変化をしてきております。

つきましては、今後、指定管理者と連携し、定期的にベリーAの老木を消費者が好む品種の苗木に積極的に切り替えていくなど、改善をして参ります。



一般質問の録画配信がご覧いただけます

※ここで掲載した議会質問・答弁内容は公式のものではありません。内容が長文になるため、また少しでもお伝えしやすい様に省略等しております。公式議事録は議会ホームページにアップされていますのでそちらからご覧ください。

新しい成人式のカタチについて提案しました

近年、成人式を若者自身の手でつくり上げるといった取組を行っている自治体がかなり増えてきています。

お隣の堺市では、新成人または同世代の若者を中心とした成人式実行委員会を立ち上げ、その委員会が成人式の企画を行い、かつ運営まで行っています。

本市は、令和2年12月に富田林市若者条例を制定しました。また、若者自身が本市に必要な施策や取組などについて検討、協議する場として、「若者会議」が創設されています。

そのような理念を持ち、そして取組を行っている本市だからこそ、若者が中心となった成人式の在り方を考え、実現につなげていくべきと考え、新たな成人式のカタチづくりの提案を行いました。

A 市の答え 大阪府の令和2年度の調査によりますと、若者

者が参画する実行委員会形式またはそれに類する形で実施されている成人式は約20市町村で行われています。

成人式を若者自身でつくり上げる取組といたしましては、実行委員会形式は積極的な参加を期待できる有効な手法の一つであると考えておりますことから、成人式の進め方につきましては、広く若者の意見を参考にして進めて参ります。

要望 若者が活躍できるまちづくりを推進するため制定した「若者条例」の意義をしっかりと踏まえた取組みを要望しました。



新型コロナウイルス感染症との戦いが始まってから早3年。大きな生活環境の変化や、様々な行動制限などで多くの方が本当にご苦労なされてる事だと思います。本市においても時間をかけて準備をしてきた市政70周年関連行事がことごとく中止になつたことを始め、多くの事業や行事がその影響を受けました。

また議会においても国からのコロナ関連予算に対応する為の臨時議会が度々にわたり開催されるなど今までにない事態が頻発しております。

私自身としましては一昨年の5月に市議会議長に就任させて頂き、コロナ禍により多くの苦難もございましたが、多くの方々のご協力とお支えを頂きながら、微力ながらも全力で一年間の任期を務め上げることができました。あらためて感謝申し上げます。

さて、市議として3期目を務めさせていただいている任期も残すところあと1年。皆様にお約束した事で実現したこともありますが、まだまだやり残している事もございます。この一年も初心忘れず精一杯にその実現に向け走り続けて参ります。どうか引き続きましてのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



吉村市長と新型コロナウィルス
対策事業に関しての協議を行
うとともに要望書を提出しました。



**新規就農者
育成支援が実現！**

本市の「きらめき農業塾」を市が補助金を出してバックアップする体制が令和4年度からスタート。

「きらめき農業塾」とは地元農家10名が中心となり、新規就農者を迎える目的で立ち上げられた機関です。

昨年の9月議会においてこの農業塾の支援を市があらゆる方向から行うべきという提案をいたしました。